

ひとについて

鵜殿長照の魅力

鵜殿長照は、今川家というとても大きな勢力の三河の代表として、今の蒲郡市中心部をまとめるほど強い力をもっていました。鵜殿長照は戦いに出ていき自分のままとめている場所を広げるだけではなく、城にいたときや、戦いに出ていないときは、市長や警察の仕事をしていました。私たちは、社会で歴史の勉強をしていて、お殿様は、威張っている人が多いという印象をもっていたため、鵜殿長照も威張っていると思っていました。

しかし、上ノ郷城のお殿様であった鵜殿長照は、常に町作りにはげみ、たくさんの人から愛され尊敬されていました。しばらくして、鵜殿長照が尊敬していた今川義元が油断して織田信長との戦によって、亡くなってしまいます。

大名になった松平元康との戦い

その後、今川義元の家臣だった松平元康(後の徳川家康)が自立します。鵜殿長照は松平元康に家来にならないかと言われます。しかし、鵜殿長照は今川義元に対する忠誠心が強く、今川義元の意思を引き継ぐことになりました。さらに自分が今川勢力から離れる事は、今川義元を裏切ることだと考え、松平元康の家来になることはなく、今川勢力の一員として、松平元康に立ち向かいました。1562年に松平元康との戦いに負けて亡くなってしまいますが、最後まで今川義元を裏切らず、城下町の人と共に戦い抜いたお殿様でした。

ものについて

城

上ノ郷城は立派な堀、土でできた壁(土塁)、木の柵などでできた村のような見えた自のお城でした。さらに、高い場所にあるため、敵が攻めにくいという攻められないために考えられているお城です。

守り

上ノ郷城は守りが堅いお城でした。例えば、堀は、距離がしっかりと図られていました。また、高い所にお城があったので敵が来たらすぐに分かります。高低差のある地形を生かして戦っていました。

武器

この時代の主な武器は、刀、弓矢、やり、火縄銃です。弓矢は、20メートルくらいまでねらって射ることができ、上から下へ射ることで計画的に戦っていました。上ノ郷城は、道が急で疲れてしまうので、そのすきに、弓矢、火縄銃を撃っていました。



お墓

上ノ郷城のお殿様である鵜殿一族のお墓は、長存寺と正行院にあります。お墓は、1500年後半から、1600年前半ごろに作られました。1973年には新しいお墓ができました。鵜殿氏を供養するために作られました。ぜひ行ってみてください。



ことについて

歴史

桶狭間の戦いがきっかけで上ノ郷城の戦いが起きました。

桶狭間の戦いとは、今川義元、織田信長が三河、尾張の土地を取り合ったことで起こったといわれています。

松平元康(後の徳川家康)は鵜殿氏を三河統一のため家来にしようとしたましたが鵜殿氏は家来になろうとしませんでした。ですが、松平氏は三河の土地が欲しかったため、鵜殿氏と戦うことにしました。松平軍は上ノ郷城を攻めましたが、鵜殿氏の賢い守り方や地形を使った戦い方で、一回目は守りきりました。

二回目は松平軍の忍者が火を放つなどをしたため鵜殿軍は混乱してしまい、敗北してしまいました。

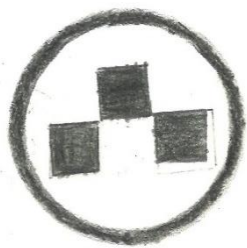
発掘調査

発掘調査では主に柱の跡、土塁、鉄砲の弾などが見つかっています。堀を埋めた上に建物を建てていることもわかっており、お城が攻め落とされた後に新たなお城を建てたことがわかります。



※蒲郡市博物館に展示してあります。ぜひ行ってください。

火縄銃の玉
直径11mmで重さは10g。表面は腐食していて白くなっている。上ノ郷城跡では2発見つかった。



「ひと」「もの」「こと」が丸わかり

鶺鴒家の歴史

うどのけれきし

上ノ郷城跡と

かみのごうじょうせき



れいわ4ねんど
令和4年度

がまごおりせいぶしょうがっこう
蒲郡西部小学校

6ねんせい
6年生

Ver.4

私たちの思い

6年生は、身近にある歴史探して、上ノ郷城に興味を持ちました。上ノ郷城跡の地形や、鶺鴒氏の人柄など、調べていくうちに「私たちの身近には、こんなにもすてきなお殿様が住んでいた、守りのかたいお城があったんだ」と知りました。上ノ郷城跡や鶺鴒氏のことを多くの人に知ってもらいたいと思い、蒲西学区文化祭で発表をしたり、リーフレットを作ったりしました。みなさんも、鶺鴒氏の人柄や、上ノ郷城跡の守りのかたさなどを知ってくれと嬉しいですよ。



かみのごうじょうせきじょうくう
上ノ郷城跡上空からの写真

私たちが蒲西学区文化祭で発表するために作ったプレゼン資料のQRコードです。ぜひご覧ください。



よろしければ感想をお寄せください。

〒443-0007

愛知県蒲郡市神ノ郷町壱町田10

がまごおりしりつがまごおりせいぶしょうがっこうあて
蒲郡市立蒲郡西部小学校宛

スマホからのご感想もお待ちしています



上ノ郷城について

上ノ郷城は、今から約500年前の、戦国時代に作られました。蒲郡に9つあった城の1つです。上ノ郷城には、お殿様がいました。そのお殿様は、鶺鴒長照です。松平元康（徳川家康）に忍者を使われて、城に火をつけられてしまい、鶺鴒長照は亡くなってしまいました。その後、上ノ郷城跡という名前になりました。上ノ郷城跡は、土地がよいので、徳川家康の本当のお母さんの新しい夫である久松俊勝が建て直しましたが、現在その城も無くなってしまいました。上ノ郷城跡からは、蒲郡市のほぼ全体を見わたすことができます。

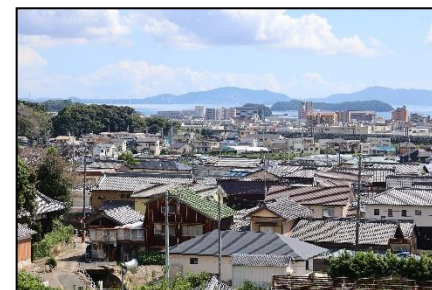


かみのごうじょうふくげんもけい
上ノ郷城復元模型

がまごおりしほくぶつかんさく
蒲郡市博物館作

がまごおりせいぶしょうがっこうしよざう
蒲郡西部小学校所蔵

(2024年末まで蒲郡市の西部公民館にあります)



かみのごうじょうせき
上ノ郷城跡から見える蒲郡の景色